

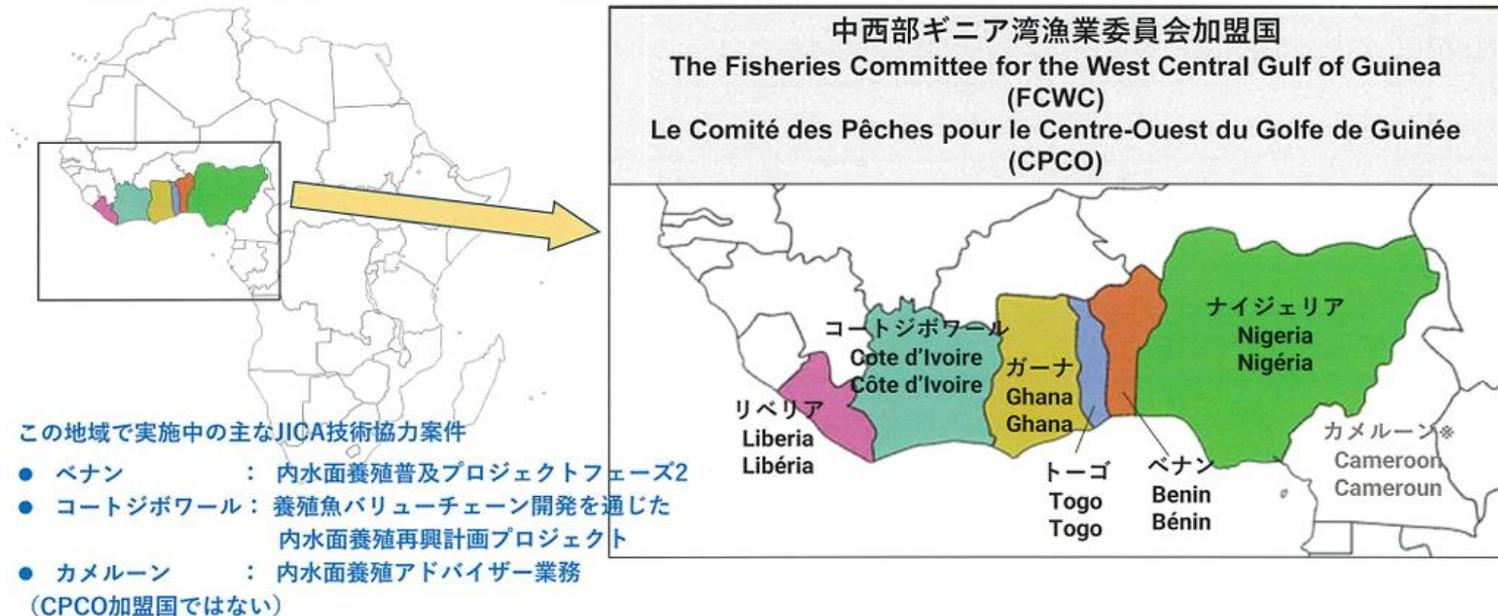
JICA水産物トレーサビリティについて — 養殖魚のトレーサビリティ —

- 2024年1月19日「養殖魚のトレーサビリティ」という表題で講義を行いました。
- 講義の終わりにアンケートを取りその結果です。
- JICA研修生は下記6ツか国から17人が参加しました。

中西部ギニア湾地域の持続的な広域養殖振興に係る養殖漁場環境政策および対策

Aquaculture environmental health policy and measures for sustainable aquaculture development in the Central West Gulf of Guinea sub-region

Politique et mesures de santé environnementale de l'aquaculture pour le développement durable de l'aquaculture dans sous-région du Centre Ouest du Golfe de Guinée



水産物トレーサビリティについて

ー 養殖魚のトレーサビリティの講義内容

1. アフリカにおける水産業の位置づけ
 1. 第196回海洋フォーラム「アフリカにおける食料安全保障と持続可能な水産業」(Sasakawa Peace Foundation Ocean Policy Research Institute)
 2. 内容
2. 他の講習内容との関連
 1. 養殖に関する法令(持続的養殖生産確保法:漁場改善計画)
 2. 養殖エコラベル制度(ASC、MEL)
 3. 養殖生産工程管理手法(GAP)
 4. 人工種苗認証制度(SCSA)
 5. 各制度の関係
3. 水産物トレーサビリティの概要(日本における事例)
 1. トレーサビリティの目的
 2. 目的別事例
4. トレーサビリティ事例の概要
 1. 偽装偽証防止(シジミ、カキ(食の安全))
 2. 販路拡大(金たこ)
 3. 資源保護情報の付加(アカアマダイ)
 4. 風評被害防止(フカヒレ)
 5. 密漁防止(ナマコ)
5. トレーサビリティの課題と解決策

アンケートの内容(1)

設問1

水産業の重要度	理由（複数回答可）○印を付けてください					
	食糧確保	国民の健康 (栄養源)	雇用機会 (就労機 会)	国の権益 (200海里水 域)の確保	外貨の獲得	その他
非常に大切である						
少し大切である						
大切ではない						
分からない						

設問2

講義の目次	理解の該当欄に○印を付けてください				
	よく理解 できた	理解でき た	少し理解 できた	理解でき なかった	その他
アフリカにおける水産業の位置づけ					
他の講習内容との関連					
水産物トレーサビリティの概要					
トレーサビリティ事例の概要					
トレーサビリティの課題と解決策					

アンケートの内容(2)

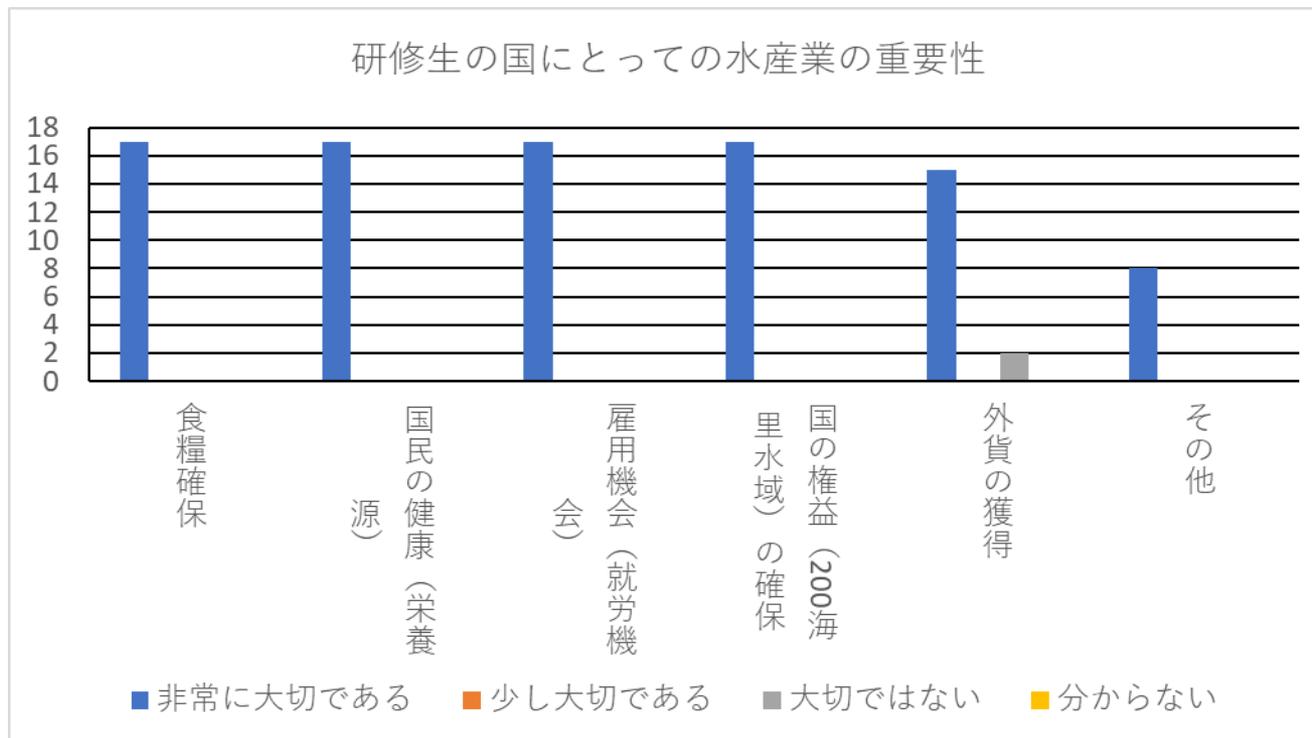
設問3

制度、仕組み	理由（複数回答可）○印を付けてください				
	特に必要である	必要である	少し必要である	必要でない	その他
持続的養殖生産確保法（漁場改善計画）					
養殖エコラベル制度（ASC、MEL）					
1.養殖生産工程管理手法（GAP）					
2.人工種苗認証制度（SCSA）					

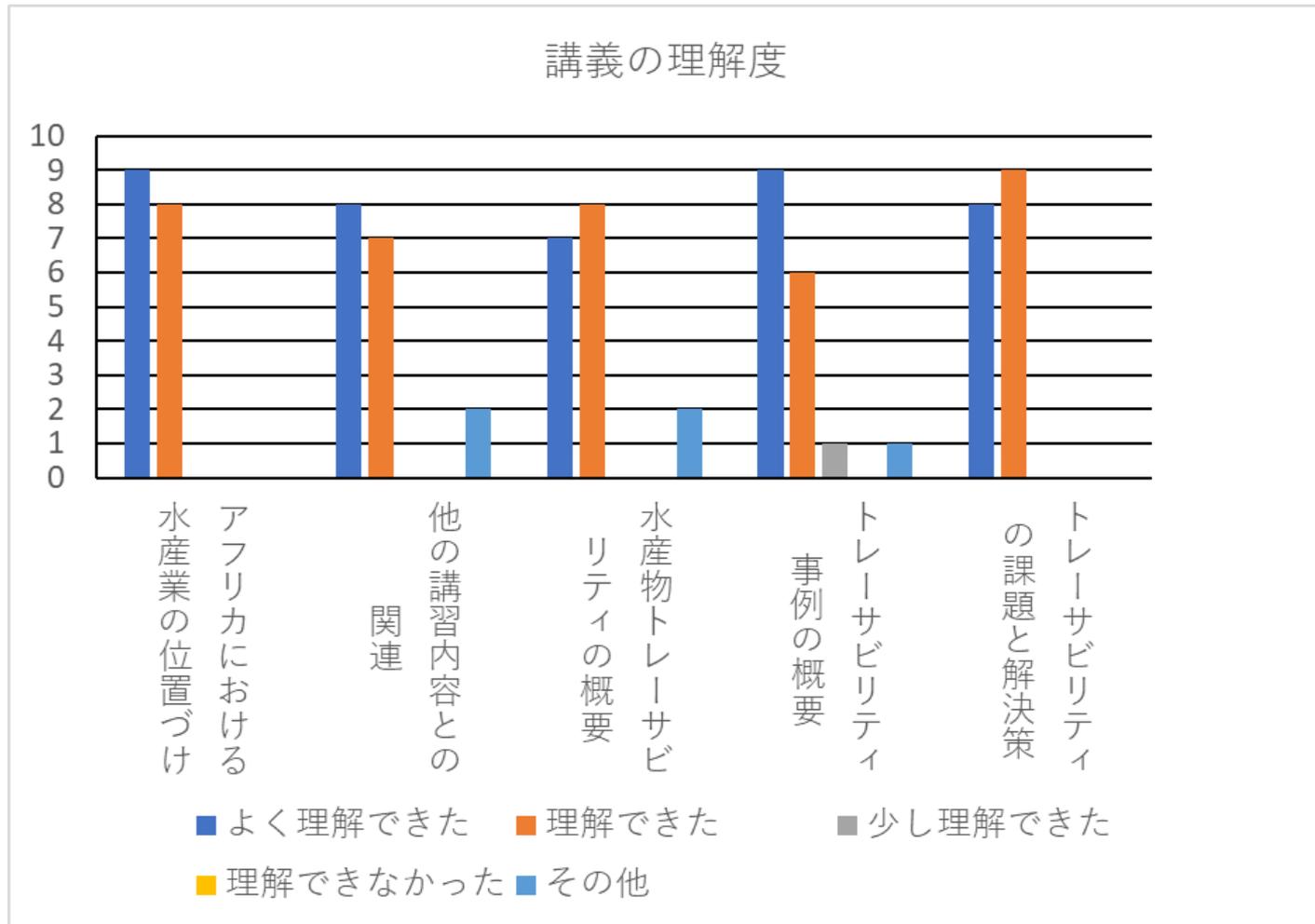
設問4

トレーサビリティを実施してみたい魚種	理由（複数回答可）○印を付けてください						
	食の安全	偽装偽証防止	販路拡大	資源保護情報の付加	風評被害防止	密漁防止	その他
魚の名前							
（記入し							
て下さ							
い）							

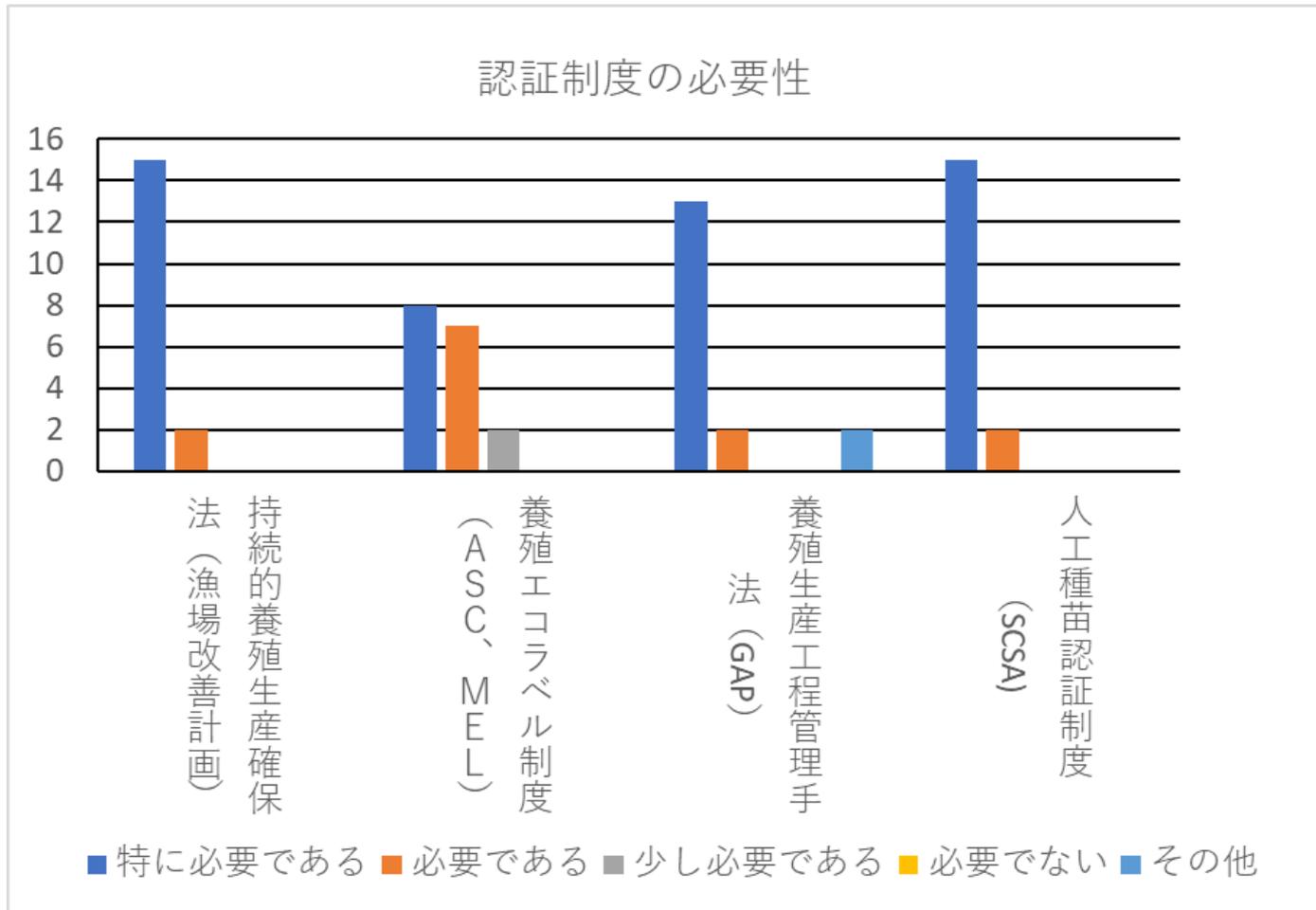
研修生の国にとっての水産業の重要性



講義への理解度（講義内容を見てください！）

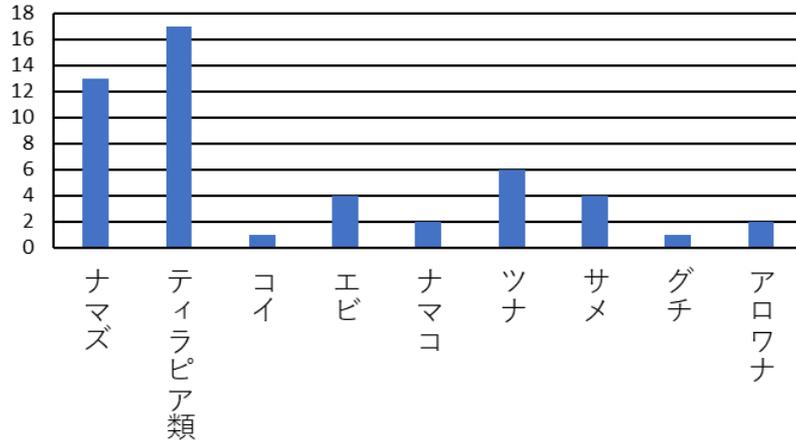


認証制度の必要性



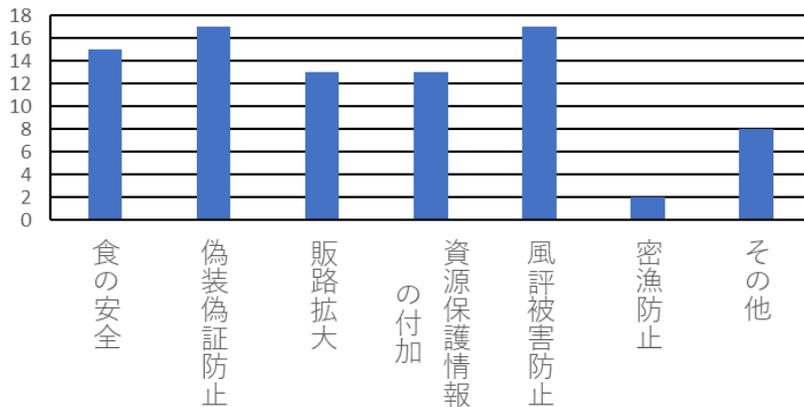
トレーサビリティを試みたい魚種と理由

トレーサビリティを試みたい魚種



ナマズとティラピアが多かったので、
二つについてはトレーサビリティに取
組みたい理由をグラフ化しています。

ティラピア類のトレーサビリティ取組理由



ナマズへのトレーサビリティ取組理由

